学校番号	1009

令和８年度　音楽科

教科	（専）音楽	科目	鑑賞研究（音楽）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

年間を通して、さまざまな楽曲、音楽作品、音楽に関わりの深い映画などを鑑賞し、「音楽の歴史」「楽曲」「作曲家」「演奏」「楽器」「音楽家の生き方」などについて学びます。また、感じたこと、考えたことを言葉で表し、意見交換する場や、発表する場を設け、他者の考えを共有し自分自身にフィードバックするという活動も行います。
ただ鑑賞しておもしろかった、だけではなく、生涯音楽を愛好する力を養い、人生にどう活用していくかを学ぶ授業ですので、毎回の授業を積極的に取り組んでください。

2　学習の到達目標

音楽作品の鑑賞の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)音楽作品や演奏、作曲家などについて理解を深めることができる。
(2)音楽作品や演奏について、根拠を明確にして批評することができる。
(3)音楽や音楽文化を尊重する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想や表現上の効果と音楽の構造、文化的・歴史的背景などとの関わりを理解している。 ・作曲家や演奏者が音楽作品を生み出した背景やその人物像なども含めて深く理解している。	・音楽のよさや美しさを味わって聴きながら、その楽曲や演奏の評価とその根拠について考えている。 ・評価を言葉でどのように表し、他者にどのように伝えるかなどを思考し、判断できている。	・音楽や音楽文化を身近なものとして捉え、自ら音楽や音楽文化と関わることによって、継承、発展、創造していこうとする態度を持っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	クラシックの名曲に触れよう！～ピアノ編～	・辻井伸行ピアノリサイタルより ・(映画)ピアノの森 ・(映画)のだめカンタービレ ☆それぞれの作品や楽曲から、ピアノの演奏法、ピアノ作品の楽曲の構造、楽譜の構造などを取り上げる。	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造、文化的・歴史的背景などとの関わりを理解できている。 b:音楽のよさや美しさを味わって聴きながら、その楽曲や演奏の評価とその根拠について考えている。 C:音楽や音楽文化を身近なものとして捉えている。	ワークシート	ワークシート	観察
	作品の批評してみよう！	・1学期に取り上げた作品の中から1つ選び、その作品や楽曲についての批評文を作成する。	b:評価を言葉でどのように表し、他者にどのように伝えるかなどを思考し判断したうえで、表現できている。		批評文提出	
2	クラシックの名曲に触れよう！～オーケストラ編～	・(映画)のだめカンタービレ ・(映画)マエストロ ・(ドキュメント)小澤征治 ☆それぞれの作品や楽曲から、オーケストラの編成、演奏法、楽譜の構造、仕事などを取り上げる。	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造、文化的・歴史的背景などとの関わりを理解できている。 b:音楽のよさや美しさを味わって聴きながら、その楽曲や演奏の評価とその根拠について考えている。 C:音楽や音楽文化を身近なものとして捉えている。	ワークシート	ワークシート	観察

	ミュージカル作品に触れよう！	・サウンドオブミュージック ・レ・ミゼラブル ・オペラ座の怪人 ・グレイテストショーマン ・マンマ・ミーア！ ☆それぞれの作品から、表現上の効果と文化的・歴史的背景などを取り上げる。	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造、文化的・歴史的背景などとの関わりを理解できている。 b:音楽のよさや美しさを味わって聴きながら、その楽曲や演奏の評価とその根拠について考えている。 C:音楽や音楽文化を身近なものとして捉えている。	ワークシート	ワークシート	観察
	ゴスペルについて学ぼう！	・(映画)天使にラブソングを ・(映画)天使にラブソングを2 ☆それぞれの作品と楽曲を取り上げ、歴史的背景を学ぶ。	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造、文化的・歴史的背景などとの関わりを理解できている。 b:音楽のよさや美しさを味わって聴きながら、その楽曲や演奏の評価とその根拠について考えている。	ワークシート	ワークシート	観察
3	お気に入りの作品をプレゼンテーションしよう！“	・各自好きな作品を1つ選び、その作品について5分程度のプレゼンを行う。 ・プレゼンの中で優秀だったものを選び、その作品を全員で鑑賞する。	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造、文化的・歴史的背景などとの関わりを理解できている。 b:音楽のよさや美しさを味わって聴きながら、その楽曲や演奏の評価とその根拠について考えている。 C:音楽や音楽文化を身近なものとして捉え、自ら関わることによって、継承・発展・創造していこうとする態度を養おうとしている。	発表の聴取	発表の聴取	発表の聴取

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度